

ふる里「厚真」の限りない発展を願う

厚真町長 藤原 正幸



感慨深いものがあり、多くの皆さんと議論を重ね、一心不乱に突き進んできた年月の流れを、今、胸が熱くなる思いで感じているところでもあります。

多くのまちづくり施策を進めるにあたっては、あらゆる困難を、勢いを持って進む力に変えていただいた町民皆さんの団結力と温かいご支援があったからであり、誠に幸甚なことでありました。

そして、町議会議員皆さんの率直なご意見とご判断も、私の町政の舵取りに大きなお力添えをいただいたものと深く感謝しております。また、陰日なた、私と一緒に汗をかきながら町民の幸せを願って議論を重ね、私を支えてくれた職員の方々にも感謝をいたします。

私が町長に就任した平成4年当時は、バブル崩壊後の経済低迷期であり、めまぐるしく変わる社会情勢等、不安定な時代でありました。

私たちが、これからの各種基盤づくりの実現に併せて、将来に悔いの無い安定した行政運営を図るため、平成7年に行政改革推進本部を設置し、2次にわたる行政改革を進めてまいりました。平成18年2月には、行政改革大綱の決定と集中改革プランの実践によって、事務事業の見直しや指定管理者等によるアウトソーシングも進めていくことができました。

私は、昨年の12月に今期限りで退任することを決断しましたが、就任以来今まで、私は私の政治信条に従って積極果敢に取り組みを決意をもって町政を担ってききました。私の4期16年の間に取り組んできたさまざまな施策の展開の中で、それぞれの町民の皆さんの顔が、今でも新鮮に脳裏に蘇ってまいります。

今後は、新しいリーダーの下で町民の皆さんの力を結集され、先人から受け継がれてきた厚真町を次代へと確実につなげ、子どもたちの笑顔が溢れ賑わう明るい未来を創造されることを心から切望するものであります。

私が取り組んできた各種の事業推進が「町民の生活安定と幸せを実感できる町」、「活力溢れる力強い産業の町」の実現に聊かでも寄与できたことすれば、私の望外の幸せとするところであります。

今、国内では、分権型社会の実現を目指して地域が自主・自律（立）することができ、個性的で魅力あるまちづくりが求めら

れた。就任まもなく、未曾有の大水害や戦後最悪の冷害による被災に よって、町民生活や農業等へ大きな経済的な打撃がありました。

また、厳しい経済情勢の中、町民生活に直結する生活環境の充実整備や農業をはじめとする生産基盤の高度化を図る必要に迫られておりました。

私は、これらの状況を打破し、安定した生活と生産の基礎となる各種の基盤整備を進めるための大型投資とこれらの事業推進を積極的に進めることを決意しました。

私の町政に対する取り組み姿勢は、町民の皆さんが「憂いが無く、安心して暮らすことができる地域社会」を実現することを基本に、「農業をはじめとする多くの産業の厳しい経済状況の打破」、「活力あふれる郷土づくり」と悔いのない町の将来を築くことを公約として、誠心誠意、公平で公

正な行政運営に努めることにありました。こうした理念を具体的に進めるため、平成8年から二度にわたる「まちづくり総合計画」を策定し、基本理念に沿い中長期的視点で各種の事業推進を図ってくることであります。

生活環境では、水害の無い町をつくる厚幌ダムの建設着手、厚真川をはじめとする河川の改修、土地区画整理事業による近代的な町並み整備や住宅地の供給、上下水道の普及拡大、町道の整備も進めてまいりました。

教育環境では、老朽化した小中学校の計画的な改築、給食センターの整備、児童生徒の国際理解教育の推進と中高生の海外研修等に取り組んでまいりました。福祉の環境づくりは、町民皆さんの健康と生きがいや充実した福祉サービスの提供を願って、総合ケアセンター「ゆくり」をはじめ

られております。私は、今後の社会情勢がどのように変動する状況下にあっても、ふる里「厚真」の皆さんの幸せと未来への大きな夢を実現することを心から願うものであり、困難を乗り越えて輝かしい発展が未来へと続くことを心から念願しております。

結びになりますが、重ねて町民の皆さん、町議会議員の皆さんに、これまでのご厚情とご支援ご協力に対しまして、衷心より深く感謝申し上げますとともに、皆さまのますますのご多幸とご健勝、厚真町の限りない発展を願って、お礼のあいさつといたします。

誠にありがとうございました。6月12日、定例町議会終了後のあいさつより

今、厚真町では、厚幌ダム関連事業、道営ほ場整備事業、国営農業用水再編対策事業、厚真川の河川改修事業などの大型事業が、楯音高く進められております。

16年前の本町の姿を思い起こしますと、産業基盤整備の立ち遅れや市街地開発の停滞、国内的に

め、積極的な施設整備とサービスの提供を行ってまいりました。また、在宅福祉、介護、子育て支援などにも取り組んでまいりました。

産業振興では、基幹産業である農業の高度化を図る農地の生産基盤と用排水路整備に国営・道営事業の積極的な導入を進めるとともに、受益者となる生産者の皆さんの経済的な負担軽減を図ってまいりました。

また、食糧の生産地として安全で安心できる農産物を供給するため、品質と流通機能の高度化を図る「たんとう米ステーション」をはじめ、農業施設等の充実整備も進め、基幹産業である農業の発展に資することができました。

さらに、交流人口の増加を図るスタードームやこぶしの湯あつ

初登庁する藤原町長 (H4.6.28)



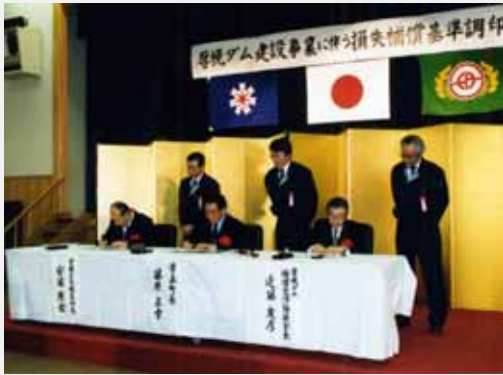
厚真町100年炬火リレーのフィナーレ (H8.8.20)



厚真町100年記念式典での藤原町長式辞 (H8.9.5)



厚幌ダム建設事業に伴う損失補償基準調印式 (H14.3.20)



総合ケアセンター「ゆくり」開所 (H16.4.12)

